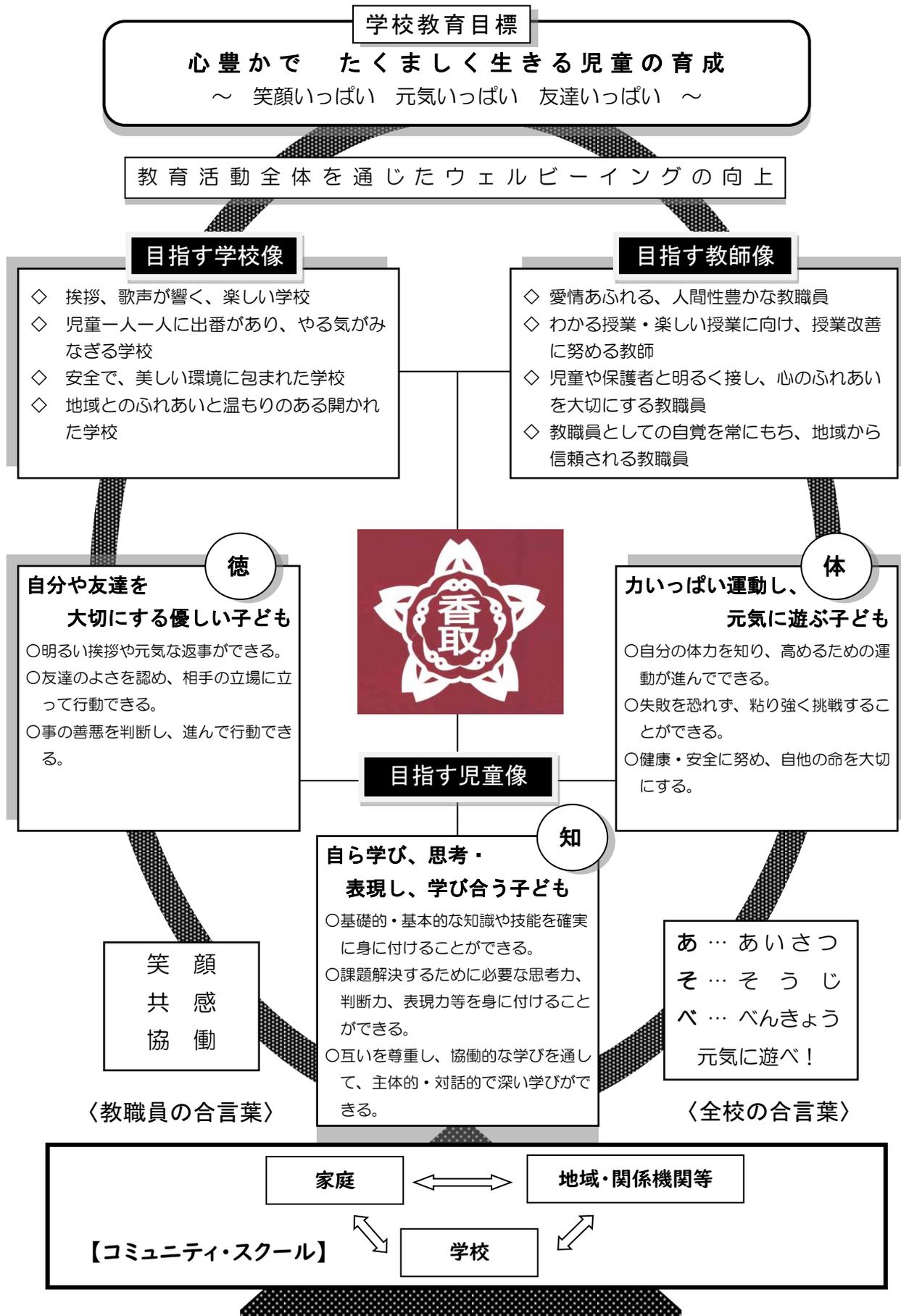


II 教育計画

1 学校経営の方針と学校教育目標



2 学校経営の重点

(1) 所属感を十分に感じ合え、安心して自分を磨ける学校づくり

- ア 「あ・そ・べ」の合言葉をもとに、みんなで楽しく学び、働き、遊ぶ雰囲気を醸成することで、学校や教室が児童にとって安心できる居場所となるようにする。
- イ 自分の考えを伝えるために話すこと、相手の考えを知るために聴くことを大切にすることで、磨き合える人間関係をつくる。
- ウ 児童との心のふれあいを大切に、気軽に相談できる信頼関係をつくる。
- エ 特別支援教育の視点から、児童の実態を把握し教育的ニーズに応じた組織的な支援をする。
- オ 全職員が、3つの合言葉「笑顔」「共感」「協働」を意識して児童に接し、学校生活に充実感がもてるようにする。
- カ 全ての児童が、障害にとらわれず、その子らしさや良さを見付けて認め合い、互いに助け合い、協力し合って学校生活ができるようにする。
- キ いじめや暴力行為を見逃さない、許さない集団づくりをする。

(2) 豊かな心を育む学校づくり

- ア 一人一人に居場所のある学級づくりをするとともに、考え議論する道徳の時間を旨指す。
- イ 多様な体験活動を工夫して行い、その活動を通して道徳性や社会性を養う一助とする。
- ウ 月目標の具現化を通して、基本的な生活習慣の定着と規範意識を養う。
- エ 「いのちの大切さ」「人権尊重の態度」を育てるとともに、いじめのない学校にするために、教育相談の充実・スクールカウンセラーの活用を図り、家庭とも連携して未然防止に努める。
- オ 朝の読書や読み聞かせを通して、読書習慣を定着させる。
- カ 異学年清掃活動（黙働）を通して、美化意識と奉仕の心を養う。

(3) 学ぶ喜び、新しい発見のある学校づくり

- ア 千葉県や香取市の教育委員会の指導の方針を基に、令和の日本型学校教育の構築を旨指し、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善に取り組む。
- イ 各教科等における言語活動において、伝え合う力及び考えを書く力、読解力の育成を旨指した指導を推進する。
- ウ 導入を工夫することで、学習内容に興味をもたせ、解決方法の見通しがもてるようにすることで意欲化を図る。
- エ 声に出して読む、ノートに文字を書くことを重視し、基礎基本の定着を図る。同時に、情報活用能力を育む ICT 利活用を積極的に推進する。
- オ 児童の実態に応じたきめ細かな指導に努める。
- カ 地域の方々、専門家等の活用を通して本物から学び、キャリア教育を充実させる。
- キ 配慮を要する児童について、組織として対応すると共に、関係機関と積極的に連携を図る。
- ク 交流学級と特別支援学級の連携を重視し、児童同士が互いに心の成長を助け、学級としての成長へと導けるように努める。

(4) 体育・健康教育を通した明るく元気な学校づくり

- ア 外遊びや運動を励行し、心身の健康を大切にする。
- イ 教科体育の充実と、学校の教育活動全体を通して体力向上を図る。
- ウ 「早寝・早起き・朝ごはん」の励行に努める。
- エ 学校保健委員会や健康診断の機会を活用すると共に、専門医・主治医と連携を図りながら、特別支援教育・体力向上・学校保健委員会を運用する。

(5) 地域と連携・協働し、地域の特性を生かした学校づくり

- ア 学校ホームページや学校・学級便りを活用し、学校からの情報発信に努める。
- イ 学校の施設・設備を開放し、地域の人々の交流の場を設ける。
- ウ 地域やPTAの行事等に教職員が積極的に関わり、相互理解と協力関係を深める。
- エ 学校評価や学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の充実を図る。
- オ 保育所や中学校（含む中学校区内小学校）との連携を推進する。

(6) 環境美化・整備が行き届いた、美しさと潤いのある安心・安全な学校づくり

- ア 学校を快適な環境とするために、実効性のある安全管理と維持管理に努める。
- イ バリアフリー化を図ることで全ての児童の学校生活環境を安全にできるよう、関係機関との連携を図りながら整備を進める。
- ウ 事故やけがなどの未然防止に努めると共に、事故等が発生した際には、速やかに組織で対応する。マニュアルの更新と周知をする。
- エ 不審者や非常時等の緊急事態に対応する訓練、防災教育を通して、危険を回避する能力の育成を継続的に行う。

(7) 研究・研修の充実

- ア 日常実践の中から課題を把握し、より本校の実態に即した教育課程を目指す。
- イ 授業改善を核とした主体的な研修を行い、日常実践による研修を活性化する。
- ウ 国語科の研究と実践を通して指導力の向上に努めると共に、佐原中央図書館との連携を深める。
- エ 職能やライフステージに応じた自己啓発に主体的に取り組む。

(8) チーム香取小としてチームワークを重視した学校づくり

- ア 全職員が学校教育目標を具体的に把握し、相互協力を大切にした全員参加の学校運営に努める。
- イ 常に危機管理意識をもち、「報告・連絡・相談・確認」を心がけ、必要で具体的な対応をチームとして迅速に行う。
- ウ 現代社会の状況と地域の伝統のバランスを大切にしながら、仕事の精選・重点化に努める。
- エ 互いの指導技術、教員としての資質を高める人材育成や研修に取り組む。
- オ 教育公務員として高い倫理観をもち、自校から不祥事を出さない学校体制づくりと、風通しのよい職場づくりを進める。
- カ 業務改善と教職員の意識改革に積極的に取り組み、働き方改革を推進する。